

4 生涯学習基盤の整備

施策の現状

本町図書館では随時蔵書等の充実を図る他、ボランティア等の協力を得て読み聞かせ会等を行っています。

施策に対する課題

図書館は「知の集積地」としてまた「町民の憩いの場」として、そして生涯学習の基点として重要な施設と位置づけます。現有施設を将来的に使用するのであれば耐震化やバリアフリー化、雨漏れ対策は必須となっています。蔵書検索システム等の整備は立ち遅れており広域連携のみならず今後進められる学校図書館との連携においても必要です。資料の収集、管理、保存は十分ではなく、充実する必要があります。

施策の方向

- ① **図書館の充実**……………【教育委員会 生涯学習課】
 - ・ 書庫・書架の拡充及び蔵書の充実に努めます。
 - ・ 配本図書等のサービスの充実に努めます。
 - ・ 近隣図書館とのネットワーク化を検討するとともに、OA化の推進等、機能性の充実に努めます。
- ② **図書館事務の電算化と小・中学校との連携** ……【教育委員会 学校教育課・生涯学習課】
 - ・ 検索システムの導入はサービスの向上に欠かせないため、蔵書検索システムの導入を推進し、小・中学校図書館との連携を図ります。
- ③ **生涯学習の場の確保**……………【教育委員会 生涯学習課】
 - ・ 文化団体の活動促進や活動拠点の充実に努めます。
- ④ **歴史資料館の設置**……………【教育委員会 生涯学習課】
 - ・ 歴史資料館の設置について、専門職員の配置を目指し、建設推進に努めます。

6

第6章

みんなの知恵と力を 結集したまちづくり

1. 町民参加の実現
2. 町民と対話する行政の推進
3. 行財政の効率化
4. 広域行政の推進

みんなの知恵と力を 結集したまちづくり

重点プロジェクト

町民参加の実現

町民の自発的なまちづくり活動を推奨します。また、コミュニティ組織の活動を支援するために、まちづくり推進会議や町政懇談会等の実施により町民との意見交換を推進します。

町民と対話する行政の推進

広報活動の充実に努めます。

行財政の効率化

財政健全化計画に基づき、町の財政状況の健全化に努めます。また、過疎地域自立促進計画に基づき、事業を推進します。

1 町民参加の実現

(1) コミュニティ活動の推進

施策の現状

まちづくりを進める上でコミュニティは重要であり、町民間の交流と結束力の強化につながることから、コミュニティづくりに対する啓発と助成を行っており、イベントやまちづくり活動における活躍や町民同士の交流が行われています。自治会やまちづくり団体等各種団体の活動の活性化を図るため、本町では支援や人材の育成を行っています。

平成18年度からは旧6町村単位でまちづくり地域推進会議を開催し、地区単位でのまちづくりや課題の解消に対して地区と行政で意見交換を行っています。また、平成19年度からまちづくりの一環として、町民が主体となって那智勝浦町花火大会が開催されています。

コミュニティ活動の拠点としてコミュニティセンターや自治会館等が使われており、地区ごとの取り組みが行われています。

施策に対する課題

今後、地方分権が進み各自治体の行政責任が求められている中で、町民の自主的な活動への支援やまちづくりを担う人材の確保に加え、地域の問題・課題の解決に町民が積極的に関わり、行政とともに一体となって取り組んでいくことが重要になっています。コミュニティ活動やボランティア活動が活発に行われる土壌づくりを行っていく必要があります。

施策の方向

① 民間活力の導入……………【総務課】

- ・本計画への町民参加に始まり、今後とも町民参加型の計画策定を推進します。
- ・病院建設やまちづくりの推進に向けて指定管理者制度等、民間活力の導入機会を増やします。
- ・新たな産業の誘致を検討します。
- ・まちづくり人材やリーダー及び組織の育成に努めます。

② まちづくり団体等との協働……………【総務課】

- ・まちづくり団体等の活動内容を把握し、協働を推進します。
- ・まちづくり団体等の事例を活用し、まちづくり意識の高揚に努めます。

③ 地区施設等の整備……………【総務課】

- ・既存施設の有効利用や拠点施設の整備によるコミュニティ活動の推進を図ります。

④ コミュニティ活動・ボランティア活動の推進……………【総務課】

- ・自発的で活発な参加の促進に努めます。
- ・コミュニティ・ボランティア活動の場の拡大を図ります。
- ・町民全員が活躍できるコミュニティ活動の充実に努めます。

2 町民と対話する行政の推進

施策の現状

広報紙「なちかつうら」や「お知らせ瓦版」の発行の他、ホームページやケーブルテレビによる文字放送、また紀伊半島大水害以降には SNS アカウント[※]を開設するなど、様々な媒体を通じて広報活動を行っています。また、条例に基づき情報公開も行っています。さらには、役場や各出張所に目安箱を設置し、ホームページ上でその回答を公開する他、定期的に町民が参加できる町政報告会やまちづくり地域推進会議を開催しています。しかし、町民が関心を抱いている財政面や大型事業についての積極的かつ分かりやすい説明が行われているとは言い難い現状です。

施策に対する課題

広報・情報公開における手段は多く用意しているものの、それを活かしきれていないことが課題となっています。また、懇談会等への参加者が固定化し、多くの町民の声を吸収しているとは言い難い現状にあります。町民が町政について正しく理解し、積極的にまちづくりに参加してもらうため、さらなる情報公開の推進が求められています。

施策の方向

① 広報活動の充実……………【総務課】

- ・ 広報誌、お知らせ瓦版及びホームページの内容の充実やケーブルテレビにおける行政放送の充実に努めます。
- ・ 町の新鮮な情報が伝わるように、Facebook や Twitter 等のウェブ事業に注力することで、町の活気を町内外に伝えられるよう努めます。
- ・ 着地型観光商品を打ち出すにあたり、町の魅力等を研究し、動画を作成し、駅やバスターミナル等の人が滞留するところで電子看板を利用した超広報活動を検討します。

② 情報公開の推進……………【総務課】

- ・ 町民参加のまちづくりのために情報公開を推進します。また、公開にあたっては個人のプライバシー保護に努めます。
- ・ 行財政改革や財政健全化計画等の積極的な情報公開に努めます。
- ・ 開かれた町政を実現するため、町民に分かりやすい形で情報公開を進めます。

③ 町民の生の行政への反映……………【総務課】

- ・ まちづくり地域推進会議・目安箱・町民アンケート等による積極的な意見収集を行います。
- ・ 町民参加型の計画策定を推進します。

※ SNS アカウント: インターネット上の SNS にログインするための権利のこと。

3 行財政の効率化

(1) 行財政

施策の現状

本町では施策を推進するため、研修により総合的判断と企画力の習得を図るなど、行政水準の確保・向上に努めています。また長期総合計画に基づいた実施計画の策定により計画的な行政施策の展開を進めています。その成果により健全財政を築きつつ、「豊かさやさしさが溢れるまちづくり」に向け、これから事業が実施できるという矢先、紀伊半島大水害により本町は甚大な被害を受けました。そのため、やらなければならない大規模事業は先送りされ現在に至っています。しかし、平成 22 年度から過疎地域に指定されたことから、現在、その「過疎地域自立促進計画」（平成 22 年度～27 年度）を軸にし、学校施設の立て替え等の実施可能な事業展開を進めているところです。

しかし、人口減少に伴う税収減や交付税の減少に加え多額の事業計画により、今後の財政運営が間違いなく厳しくなることから、今後も行財政改革を推進する一方、大規模事業の実施にあたっては慎重に行う必要があります。

施策に対する課題

今後も長期総合計画に基づき、行政水準の向上に努めることが大切です。長期総合計画との整合性と町民の要求度、必要性、緊急性、経済性等から事業内容の見直しが急務となっています。

財政面については、消費増税や建築資材の高騰等、地方財政は依然として厳しい状況が続いており、今後の大規模事業の実施については、実施時期や実施内容の見直しをする必要があります。今後は、「過疎地域自立促進計画」の見直しを図り、その利点を十分に活用していくことや、地方創生に積極的に取り組み、国の交付金を上手く活用しながら、また、財政見直しを見極めながら財政運営に取り組む必要があります。

施策の方向

- ①行政水準の確保・向上……………【総務課】
- ・長期総合計画に基づく施策を推進します。
 - ・町民ニーズと効果を十分把握し、新しい視点に立って事務事業の見直しを行います。
- ②計画的財政運営の推進……………【総務課】
- ・実施計画の策定について、見直しを行いながら実施していきます。
 - ・財政健全化計画を策定し、安定した財政基盤の確立に努めます。
- ③効率的な財政運営の推進……………【総務課】
- ・既存の財務会計制度の見直しを図るなど効率的な財政運営を推進します。
 - ・財務会計における電算活用をさらに進めます。
- ④過疎地域自立促進計画の推進……………【総務課】
- ・過疎地域自立促進計画に基づき過疎地域からの脱却を目指した施策を推進します。
- ⑤財源の充実確保……………【総務課】
- ・徴収体制の強化を図り、町税等の徴収率の向上に努めます。
 - ・施設等の使用料・手数料の適正化に努めます。
 - ・保有資産の有効活用を図ります。
- ⑥特別会計、企業会計の健全化……………【総務課】
- ・病院事業や国民健康保険事業等の財政の健全化を推進します。

(2) 事務事業

施策の現状

本町では平成18年度に課の再編成を行い、課・系の統合・見直し等、施策の推進体制の効率化を進めています。国と全地方公共団体とのネットワークである住民基本台帳ネットワークシステムと総合行政ネットワークシステムを導入、さらに戸籍事務の電算化を行うなど、電子自治体実現に向けた整備と事務処理の効率化に努めています。

また、財政健全化計画による人件費削減や施設統合等の成果により、現在のところ健全財政を維持しています。しかしながら、少子化・高齢化や人口減少の波は堰き止めることが難しく、税収や交付税等の歳入確保は厳しくなることが予想されます。加えて多額のやらなければならない大規模事業計画に対応するため、さらなる事務事業の効率化を進める必要があります。

施策に対する課題

今後も、絶えず積極的な行政改革を進めることが大切であり、個人情報の保護を図りながら、さらに高度な情報化を推進していく必要があります。さらに、地方分権が進められる中で、新たな行政需要に対応するため、機構改革を行い組織の活性化を図ります。

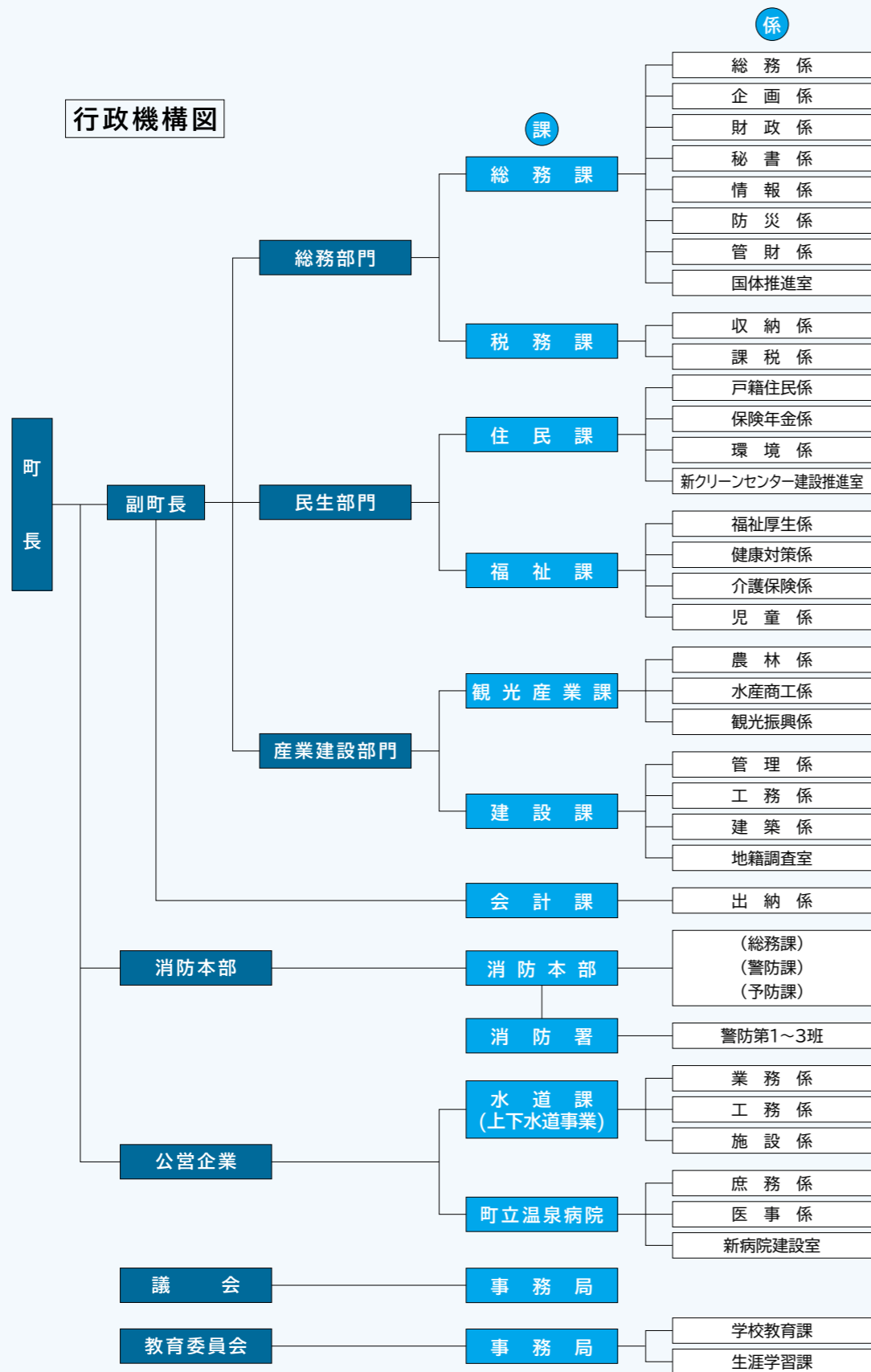
また、長期的展望に立った事務の効率化の推進と町民サービス向上のため、職員の資質の向上が大切です。各種公共施設の管理運営については、施設の利用調整の効率化・使用料等の見直しを行う必要があります。また、施設の統合についても見直しが求められています。

施策の方向

- ①集中改革プランの推進……………【総務課】
- ・集中改革プラン（財政健全化計画・定員適正化計画）を策定し、適正な行財政を行います。
- ②職員の能力開発と事務の効率化……………【総務課】
- ・職員研修の強化・多角化、派遣研修を行うとともに、政策問題によってはプロジェクトチームを編成し、重点的な施策の展開を図ります。
 - ・職員数減少の中での研修機会を確保します。
 - ・個人情報の適正な管理の下に、庁内の分散型ネットワークシステムを充実することによって、ICTを活用した事務の効率化を図るとともに、町民の利便性向上のため、電子申請等のシステム構築に努めます。
- ③各種公共施設の管理・運営の合理化……………【総務課】
- ・指定管理者制度の導入等、施設利用の効率化及び使用料の見直しを検討します。
 - ・公共施設の統廃合等による効率化を進めます。
- ④財政シミュレーションの推進……………【総務課】
- ・現在と未来に必要な事務事業、将来にわたり持続可能な行財政の運営、そのバランスを長期的な展望で把握するため、財政シミュレーションを行い町民に周知します。

那智勝浦町分課設置条例関係資料

平成27年4月1日



(3) 企画行政

施策の現状

総合計画の施行管理については、基本計画や実施計画の見直しに伴い、施策の評価を行っています。また、本計画より、町民のニーズを町行政により活かすため、町民参加型の計画策定を実施しています。

施策に対する課題

今後も町の企画調整的機能の充実が求められている他、総合計画等については策定・評価・見直しのサイクルを重視し、推進していく必要があります。

施策を進めていく中で、行政だけでなく民間活力と協力したまちづくり施策の展開により、効率的・効果的な行財政の推進が望まれています。

施策の方向

① 企画調整機能の強化……………【総務課】

- ・企画業務の機能強化に努めます。

② 総合計画、土地利用計画等の策定・見直し・施行管理……………【総務課】【建設課】

- ・引き続き施策の施行管理を実施します。
- ・総合計画等の町行政計画策定において広く町民の参画を推進します。
- ・町行政計画について PDCA サイクルによる見直しに努めます。
- ・土地利用の高度化並びに地籍の明確化を図るため、地籍調査事業を実施します。



総合計画策定審議会

4 広域行政の推進

(1) 広域行政

施策の現状

本町は新宮周辺広域市町村圏事務組合に属しており、新宮周辺広域市町村圏計画に基づき施策を展開しています。また、し尿処理については那智勝浦町・太地町環境衛生施設一部事務組合として実施しています。

広域交通網の整備については、近畿自動車道紀勢線の延伸や国道の整備促進、圏域内の港湾整備促進、バス及び鉄道等公共交通の強化を関係事業者に要望しています。

圏域内の海洋を守り、活用する施策として下水道整備や合併処理浄化槽の推進により、海洋汚染防止に努めている他、海洋事故に対しては応援体制の整備や危険箇所の点検等を実施しています。

この他、産業の面では流通体制の整備や地域特産物の開発、保健・医療・福祉の面では紀南学園事務組合及び東牟婁郡町村新宮市老人福祉施設事務組合に属し、施策を展開するとともに、太地町と共同で行っている介護保険認定審査、また文化・教育の面では世界遺産熊野地域協議会、環境関係では田辺市以南で設置された紀南地域廃棄物処理会社「紀南環境公社」等、広域での取り組みが行われています。

施策に対する課題

都市化や交通ネットワークの整備等車社会の進展により、町民の生活圏は町域を越えて拡がりをみせています。また、地方分権時代を見据え効率的な行政運営が求められており、さらに環境問題等行政の枠を越えた広域的な対応や連携がますます重要になっています。地方分権が進む中で、新宮周辺広域市町村圏計画の推進が求められています。

広域市町村圏計画を進めるにあたっては、情報ネットワーク、広域観光、圏域内交通網の整備、海洋汚染防止への取り組み、海洋事故対応策の充実が求められています。

また、各産業の拠点施設の整備、広域医療・福祉ネットワークの構築、圏域内既存文化・教育施設の有効利用、世界遺産の活用保全と熊野学といった各分野における広域的な取り組みが今後も求められています。特に、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を持つ市町に関しては一体的な観光振興の施策を展開する必要があります。

さらに、近い将来発生が予想される東海・東南海・南海地震に対する情報の共有化や災害対策についても広域的な取り組みが求められています。

施策の方向

- ①事務組合事業の円滑な推進……………【総務課】
- ・新宮周辺広域市町村圏事務組合・環境衛生施設一部事務組合等の事業を継続的に推進します。
 - ・情報ネットワークの整備をさらに推進します。
- ②交通ネットワークの整備推進……………【総務課】
- ・近畿自動車道紀勢線の延伸、国道の整備、港湾の整備、公共交通の強化等を引き続き国及び県に要望します。

(2) 国際交流と広域交流の推進

施策の現状

本町はアメリカのモンレーパーク市と姉妹都市提携を行っており、現在は、高校生の受け入れ・派遣を隔年で行っています。また、長野県上松町とは友好都市提携を行っており、各々の町のイベントに参加するなど友好関係を築いています。さらに、千葉県勝浦市・徳島県勝浦町と「全国勝浦ネットワーク」として、災害時の相互応援協定を結ぶなど交流を深めています。

施策に対する課題

急速な国際化・グローバル化が進展している中で、本町においても世界遺産の登録を契機として、外国人の来訪者が増加しています。国際理解を深めるとともに、外国人にとっても居心地の良いまちづくりの推進が必要です。

国内の友好都市やネットワーク交流についても交流の活性化や町民レベルでの自主的な交流を行い、広い視野を身に付けていくことが大切です。

施策の方向

- ①国際姉妹都市、友好都市交流の促進……………【総務課】
- ・交流の活発化及び町民レベルでの自主的な交流を図ります。
- ②全国勝浦ネットワークの推進……………【総務課】
- ・サミットや担当者会の継続的な開催と町の紹介や訪問、文化や物流等の交流を促進します。



那智勝浦町議会



モンレーパーク市との国際姉妹都市交流

DATA 資料編